

“ネットいじめ”、過去最多を更新

～「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より～

10月に文部科学省が公表した「令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、いじめの態様のうち、パソコンや携帯電話等で、誹謗（ひぼう）・中傷や嫌なことをされる、いわゆる“ネットいじめ”の認知件数は、前年度比1,590件増の17,924件で、過去最多となりました。（※いじめの認知件数全体も61万2,496件と過去最多）

「パソコンや携帯電話等を使ったいじめ」について、学校別の認知件数を見ると、昨年度同様、中学校が8,629件（前年度8,128件）と最も多くなっています。また、小学校では前年度から約1千件の大幅な増加となっています。

内閣府の調査によると、令和元年度の小・中・高校生のインターネット利用率は93%に達し、うち小学生の約42%、中学生の約75%、高校生の約90%がインターネットをコミュニケーション手段として使っています。SNSなどのコミュニケーションは直接、顔を会わせたものではないため、トラブルに結び付きやすい傾向があります。

また、SNSなどを用いたいじめについては、匿名性が高く、外部から見えにくいため、周りの大人が気付にくい傾向もあります。特に保護者の方は、日頃から子どもの言葉に耳を傾け、コミュニケーションをとり、何かあったときに子どもから相談できる雰囲気を作っていくことが大切です。

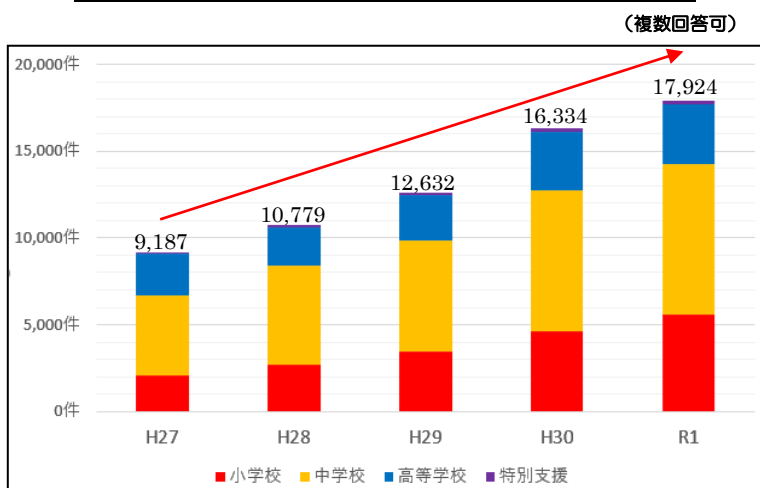
< 参考 > ・文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302902.htm

・内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」

https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf

パソコンや携帯電話等を使ったいじめの認知件数



(出典：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」)

パソコンや携帯電話等を使ったいじめの学校種別の認知件数とその割合

| | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 小学校 | 2,075 | 2,679 | 3,455 | 4,606 | 5,608 |
| 中学校 | 4,644 | 5,723 | 6,411 | 8,128 | 8,629 |
| 高等学校 | 2,365 | 2,239 | 2,587 | 3,387 | 3,437 |
| 特別支援学校 | 103 | 138 | 179 | 213 | 250 |
| 合計 | 9,187 | 10,779 | 12,632 | 16,334 | 17,924 |

() 内は、学校種別の認知件数に占める割合または認知件数全体に占める割合 (出典：同上)

